

年間授業計画 新様式例

飛鳥 高等学校 令和7年度（1年次用）教科 芸術 科目 音楽I

教科：芸術 科目：音楽I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 年次 1 組～ 6 組

使用教科書：(MOUSA 1)

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽I

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|-------------------------------------|---|
| 生涯学習としての器楽の基礎を身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎を学ぶ。 | さまざまな背景について考え鑑賞する。 音楽的表現を考え表現する。 | こつこつと努力する姿勢 他者と協力するアンサンブル探求心 これらを育成する |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|------|--|--|----|---|---|---|---|---|---|------|
| | | | 歌 | 器 | 創 | | | | | |
| 1 学期 | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法を身につける。 弦番号と指番号付きの楽譜を見ながら、各自で楽曲を練習できるようになる。 | ヴァイオリンの一斉授業 楽器の取扱 構え 弓の持ち方 デタシェ 1st ポジション 蛙の歌 キラキラ星 カントリーロード アメイジング・グレイス エーデルワイス 等 | | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法を身につける。 弦番号と指番号付きの楽譜を見ながら、各自で楽曲を練習できるようになる。 | 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える 楽器の取扱 構え 調弦 カルカッシャルアイレ アルペジオ 1st ポジション オリジナル練習曲1 等 | | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 歌の鑑賞 基礎的歌唱法 ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない | ジャンルのちがいによる様々な声等の鑑賞1を行う。スタイルによちいかに声が違うかを学ぶ。 校歌等を歌唱する。 基礎的歌唱法を学ぶ。 | ○ | | ○ | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 卒業後もふたたび手にしようと思える楽器について、特に独習が困難なものを学習する。 | ヴァイオリンの一斉授業 スラー 3rd ポジション マルテレース タッカート 威風堂々第1番 木星 もののけ姫 等 | | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 2 学期 | 器楽アンサンブル（独奏を含む）の練習と発表を通じて各楽器の基礎的技術および合奏力の向上をはかる。 器楽独奏の基礎を学ぶ。 | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える アポヤンド セーハ オリジナル練習曲2 等 | | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 箏の基礎的奏法を身につける。 世界史・日本史・各宗教・他の芸術等との関連・美学的なものの見方を理解し考えながら鑑賞する。 | 箏の基礎的奏法 さくら 三段の調べ 六段の調べ（初段） 尺八古典本曲「本調べ」等の鑑賞 | | ○ | ○ | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| 3 学期 | 基礎的な奏法の定着を図る。 ミュージカル、オペラ等の鑑賞を行い、西洋的な表現方法を味わい、学ぶ。 | ヴィブラート マルテラート 星に願いを 虹の彼方に 等 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲3 等 トスカの相關図 指示動機を学び鑑賞する | | ○ | ○ | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 即興演奏の基礎を学び、実習する | 手足によるリズム即興 F のブルースの構造について ブルーノート・スケールについて アヴォイド・ノートについて その1 ヴィブラフォンによる即興演奏の | | ○ | ○ | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 8 |

合計

年間授業計画 新様式例

飛鳥 高等学校 令和7年度（1年次用）教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅱ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 23 年次 組～ 組

使用教科書：（ MOUSA 1

1

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようとする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】

| | | |
|--|---|---|
| 生涯学習としての器楽の基礎をさらに身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎をさらに学ぶ。 | さまざまな背景についてさらに考え鑑賞する。 音楽的表現をより考え方表現する。 | こつこつと努力する姿勢 他者と協力するアンサンブル探求心 これらを育成する |
|--|---|---|

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|--|----|---|---|---|---|---|---|------------------|
| | | | 歌 | 器 | 創 | | | | | |
| 1 学 期 | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法を身につける。 弦番号と指番号付きの楽譜を見ながら、各自で楽曲を練習できるようにする。 | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 戦場のメリークリスマス ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲4 等 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法を身につける。 弦番号と指番号付きの楽譜を見ながら、各自で楽曲を練習できるようにする。 | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 戦場のメリークリスマス ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲5 等 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 歌の鑑賞 基礎的歌唱法 ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない | ジャンルのちがいによる様々な声等の鑑賞2を行う。スタイルによちいかに声が違うかを学ぶ。 校歌等を歌唱する。 進んだ歌唱法を学ぶ。 | ○ | | ○ | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 卒業後もふたたび手にしようと思える樂器について、特に独習が困難なものを学習する。 | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 人生のメリーゴーランド ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲6 等 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 器楽アンサンブル（独奏を含む）の練習と発表を通じて各樂器の基礎的技術および合奏力の向上をはかる。 器楽独奏の基礎を学ぶ。 筝の基礎的奏法を身につける。 世界史・日本史・各宗教・他の芸術等との関連・美学的なものの見方を理解し考えながら鑑賞する。 | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 パイレーツオブカリビアン ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲7 等 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| 2 学 期 | 基礎的な奏法の定着を図る。 ミュージカル、オペラ等の鑑賞を行い、西洋的な表現方法を味わい、学ぶ。 | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 パイレーツオブカリビアン ほか 生徒の状況によりクラシックギター等の一斉授業を加える オリジナル練習曲8 等 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 即興演奏の基礎を学び、実習する | 手足によるリズム即興 Fのブルースの構造について ブルーノート・スケールについて アヴォイド・ノートについて その2 ヴィブラフォンによる即興演奏の | ○ | ○ | ○ | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 3 学 期 | 即興演奏の基礎を学び、実習する | 手足によるリズム即興 Fのブルースの構造について ブルーノート・スケールについて アヴォイド・ノートについて その2 ヴィブラフォンによる即興演奏の | ○ | ○ | ○ | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 合計 |

年間授業計画 新様式例

飛鳥 高等学校 令和7年度（1年次用）教科 芸術 科目 音楽III

教科：芸術 科目：音楽III

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

使用教科書：()

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽III

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 生涯学習としての器楽の基礎をさらに身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎をさらに学ぶ。 | さまざまな背景についてさらに考え演奏する。 音楽的表現をより考え表現する。 | こつこつと努力する姿勢 他者と協力するアンサンブル 探求心 これらを育成する |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|-------------|---|--|----|---|---|---|---|---|---|---------------|
| | | | 歌 | 器 | 創 | | | | | |
| 1 学 期 | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーアイント・シフティングの多様な技術を身に付ける | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいデタシエ レガート 3rdポジションへの上下 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 指導内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーアイント・シフティングの多様な技術を身に付ける | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいスラー 3rdポジションへの上下 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 指導内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーアイント・シフティングの多様な技術を身に付ける | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいコーレ 5thポジションへの上下 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 指導内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーアイント・シフティングの多様な技術を身に付ける実技テスト | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しい投げ弓 5thポジションへの上下 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 指導内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 2 学 期 | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーアイント・シフティングの多様な技術を身に付ける | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいボルタート 7thポジションへの上下 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 指導内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーアイント・シフティングの多様な技術を身に付ける実技テスト | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいスピッカート 7thポジションへの上下 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 指導内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| 3 学 期 | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法を身につける。音楽IIまでに習わなかったボーアイント・シフティングの多様な技術を身に付ける実技テスト | 弦楽合奏 ヴァイオリン チェロ ヴィオラ コントラバスによる合奏 木星 オリジナルスコア ほか 正しいワンボウスタッカート 9thポジションへの上下 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 指導内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | まとめ | これまで学んだ楽曲や奏法の総ざらい | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 指導内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 8 合計 70 |

年間授業計画 新様式例

飛鳥 高等学校 令和7年度（1年次用）教科 芸術 科目 演奏

教 科： 芸術

科 目： 演奏

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： ()

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようとする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽III

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 生涯学習としての器楽の基礎を身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎をさらに学ぶ。 | さまざまな背景についてさらに考え演奏する。 音楽的表現をより考え表現する。 | こつこつと努力する姿勢 他者と協力するアンサンブル 探求心 これらを育成する |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|-------------|--|--|----|---|---|---|---|---|---|---------------|
| | | | 歌 | 器 | 創 | | | | | |
| 1 学 期 | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう | クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲を選定する。独奏またはアンサンブルの練習を行う。 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう | クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲を選定する。独奏またはアンサンブルの練習を行う。 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう | クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲した楽曲について独奏またはアンサンブルの練習を行う。 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう | クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲した楽曲について独奏またはアンサンブルの練習を行う。実技テスト兼演奏会 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 2 学 期 | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 進んだ奏法、さらに進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう | クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自進んだ奏法またはさらに進んだ奏法の練習を行う。楽曲を選定する。独奏またはアンサンブルの練習を行う。 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう | クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自基礎的または進んだ奏法の練習を行う。楽曲した楽曲について独奏またはアンサンブルの練習を行う。実技テスト兼演奏会 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| 3 学 期 | 生涯学習の基礎としての器楽を身につける。 基礎的な奏法、進んだ奏法を身につける。各自選択した楽器の基礎、独奏または合奏の練習をおこなう | クラシックギター、フォークギター、キーボード、フルート、ピアノから選択し、各自進んだ奏法またはさらに進んだ奏法の練習を行う。楽曲を選定する。独奏またはアンサンブルの練習を行う。 | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | まとめ | これまで学んだ楽曲や奏法の総ざらい | ○ | | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 | ○ | ○ | ○ | 8 合計 70 |

年間授業計画 新様式例

飛鳥 高等学校 令和7年度（1年次用）教科 芸術 科目 保育系ピアノ

教科：芸術

科目：保育系ピアノ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

使用教科書：()

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽III

の目標：

| 【知識及び技能】 | | 【思考力、判断力、表現力等】 | | | 【学びに向かう力、人間性等】 | | |
|--|--|-----------------------------------|--|--|--------------------------------|--|--|
| 保育系へ進学するための基礎的なピアノ奏法を身に付ける。また生涯学習としての器楽の基礎を身に付ける。 未経験の楽器の奏法の基礎をさらに学ぶ。 | | さまざまな背景について考え演奏する。音楽的表現をより考え表現する。 | | | こつこつと努力する姿勢 探求心 これらを育成する | | |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|-------------|---|--|----|---|--|---|---|---|----------|
| | | | 歌 | 器 | | | | | |
| 1 学 期 | 保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。 生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける | オリエンテーション 志望校・ピアノの経験等アンケートの実施 座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法 | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。 生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける | 個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジオジブリ、ディズニーの曲等各自のレヴェルに応じ選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法 | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。 生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける | 個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジオジブリ、ディズニーの曲等各自のレヴェルに応じ選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法 | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。 生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける 実技テスト | 個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジオジブリ、ディズニーの曲等各自のレヴェルに応じ選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法 | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 2 学 期 | 保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。 生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける | 個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジオジブリ、ディズニーの曲等各自のレヴェルに応じ選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法 | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。 生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける 実技テスト | 個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジオジブリ、ディズニーの曲等各自のレヴェルに応じ選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法 | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| 3 学 期 | 保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、基礎的なピアノの実技を中心に指導する。 生涯学習の基礎として、ピアノの基礎的奏法を身に付ける | 個人レッスンおよび個人練習 ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ、スタジオジブリ、ディズニーの曲等各自のレヴェルに応じ選曲。座り方、手の形、姿勢、指の番号 楽譜の読み方 練習方法、音楽的表現方法 | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | まとめ | これまで学んだ楽曲や奏法の総ざらい | ○ | | 1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容およびレッスン内容の理解度 | ○ | ○ | ○ | 合計 70 |

